



社会福祉法人おおぞら会 広報紙

SSKP

はばただより

vol.144



グループホームへようこそ



「親が年老いてきたら…」 「自立するには？」 …障害のある人が暮らしていく中でその時々には立ちはだかる壁。介助してくれる人はどうするの？誰にわからないことを聞けばいい？お金のことも心配…。そんな皆さんの生活を支えるグループホーム。家族から離れての共同生活は不安と学びと、少しのいざこざ(笑)を経て、入居者同士に不思議な絆が生まれ、“居ないとさみしい”存在になっていきます。

職員は、夕方から朝にかけての変則勤務ですが、寝食を共にしながら皆に寄り添う仕事を誇りに思い、この年末年始も働いています。初詣に行ったら“人手不足解消”を祈願しつつ、この仕事のやりがいを伝えていけるよう、今年はこの通信でも皆様にホームの様子を発信をしていきたいと思ひます！

新年を迎えることが出来たことを感謝申し上げます。

社会福祉法人おおぞら会理事長 西原雄次郎

新型コロナウイルスに世界中が席卷されて2年が経過しました。自国の対策だけでは乗り越えられない、地球規模で互いに協力し合わなければこのウイルスに勝てない(あるいは共存できない)ことを痛感させられ、そのための人間としての知恵が、今も試されているように思えます。

小さな社会福祉法人である当おおぞら会も、三鷹と武蔵野を中心とする限られたエリアに根を張りながらですが、地球規模で行われている感染防止対策のすみっこに連なるものとしての自覚を持って、みなみな力を合わせて感染防止に取り組んでまいりました。おおぞら会に関わる皆々様の**努力**と**我慢**と**お力添え**に、あらためて心から御礼申し上げます。ありがとうございます。

当面は変わらぬコロナ対策を維持・徹底しつつも、おおぞら会の未来に向けた試行錯誤をこれからも続けて行かねばなりません。

昨年度は、年末に武蔵野市内での事業所(「サポートネットあすは」と「あすはkid's」)が、賃貸借契約の更新を期に、同市内の別の場所へ移転いたしました。地域から託されている大きな期待を受け止めつつ、職員一同、これまで以上に安定・安全・安心な事業運営を目指した取り組みを始めています。また、当法人のグループホームの一つである「さくらハイツ」の全面改築の具体化が、諸事情(建設費の高騰や利用者の皆さんの一時的な移転先確保の難しさ等)により計画が中断しています。家主様のご厚意により待っていただいておりますが、近々一定の方向を明確にさせねばなりません。

今後の当法人の安定経営・運営のために、昨年から中期経営計画策定に向けた取り組みが行われています。重ねられた議論の先に行われる提案を待ちたいと思います。関わって下さっている理事や職員の皆さまの努力に感謝いたします。

さて、新型コロナ禍のため、多くの“楽しい行事”を中止せざるを得ない日々が続きました。利用者の皆さん、保護者・ご家族の皆さん、そして職員も、うつうつとした日が続きました。そんな中でも、当法人の出発点である「アクティビティセンターはばたけ」はじめ、各事業所では、小さくても、少しでも明るい気分になれるような諸行事を工夫して取り組んでいます。

また、記事にもあるように、ある企業様から都内の子ども食堂を応援するために、「工房時」に多数のクッキーの注文をいただきました。企業様の社会貢献活動の一部に加わらせていただき、所員の皆さんの工賃アップにもつながりました。本当にありがとうございました。

当法人の中で唯一の介護保険事業所である「野ざきの家」にも、コロナ禍の影響はずっしりと押し寄せ、利用者の皆さんの生活状況にも多くの制限が加わり、各ご家庭にもこれまでにない負荷がかかったと想像されます。けれども、こんな時だからこそ小規模多機能事業所の特徴を生かし、職員の工夫と努力で、密になる「通い」から「訪問」に切り替え対応するなど、それぞれの個別事情に応えるべく頑張っています。

新型コロナの新しい変異株がどのような威力を持つものなのか、これを書いている今はまだ定かではありません。けれど、2022年が平穏な1年になることを心から願っています。この年も何とぞ変わらぬお力添えを賜りますよう、心からお願い申し上げます。



野ざきの家

【小規模多機能型居宅介護】



新たな年も始まりましたが、未だコロナの感染拡大に翻弄され、油断の出来ない日々が続いています。何かと外出に制限が掛かっている昨今、野ざきの家でも、体の不自由な方も多く利用されているため、コロナ前より室内での余暇活動に注力してきました。安全に余暇活動を行うには参加する方々の性格や身体能力に合わせて活動内容を考える必要があります。今回は、そんな工夫をしながら行っているレクリエーションの一部をご紹介しますと思います。

まず、老若男女問わず万人受けしたのは〇×クイズです。手札があればなお良いですが、問題さえ用意すればどこでもできる気軽さがあります。解答式のクイズと違い、答えを〇か×かの二択にしたため、問題や答えが分からなくても正解の可能性があり、認知症の方や身体の不自由な方でも参加しているという自覚を持つことが出来ます。大人数でプロジェクト等に問題を映せばより一層気分が盛り上がります。



グラグラタワー…崩さないようにお手玉を投げます！

野ざきの家で行うレクリエーションで注意している点は、参加者間で能力の差が如実になり過ぎないという事です。同じクイズでも例えば“なぞなぞ”は失敗の部類に入ります。答えを一から考えなければならない問題になってしまうと、解答が得意な方の独壇場になってしまうため参加メンバー全員が楽しめない状態になってしまいます。高齢者の方が参加されるクイズの場合は、答えを選択形式にする事が重要です。また、答えが分からない参加者に注目が集まらないよう全員同時に回答できるような配慮も必要となってきます。

その他、野ざきの家に通われる利用者の特技や趣味、これまでの人生経験を活かすべく、職員間でアイデアを出し合い失敗も経験しながら余暇活動を行ってきましたが、学んだ事も多くあります。まず、大切なのは「職員も楽しむ」ということです。職員が楽しんで進行していないと不思議と参加者にも気持ちが伝わり、何をやっても盛り上がらないという状態に陥ってしまいます。職員自身が考えるところから楽しみ、利用者の皆さんが笑う姿や驚く姿を想像して準備をしていき、レクの時間に臨むことを心がけています。



都道府県ダーツ名産物クイズ…故郷にダーツが当たると盛り上がります！

そして何より「安全」であることです。体や心の健康を養う余暇活動にて、怪我をしてしまったては本末転倒です。安全性を考慮しつつ、体や頭や気持ちが動く楽しい活動を行い、野ざきの家での時間が利用者の皆さんの日々の活力になるよう職員間の連携が大切に、これからも新たな活動を考えていきたいと思っています。

(支援員 櫻井俊輔)

工房 時【就労移行支援・就労継続B型】



仕事の意味を考える～大口注文の取り組みから

新年あけましておめでとうございます。皆様のおかげで良い新年を迎えることが出来ました。本年もよろしくお願い致します。

さて、みなさんご存じのように工房時では、うどん麺やクッキー、ケーキなどの食品を販売していますが、昨今の原油高に伴う小麦、食用油、砂糖などの値上がりの影響を受けています。またコロナウイルスの感染者は減ってきているとはいえ、まだまだイベントなどでの販売は難しい状況が続いています。しかし昨年末に、その数なんと7300袋という、これまでで一番多いクッキーの注文をいただいたのです。コロナウイルスの影響で販売が滞る中、本当にありがたいことです。この注文は、「シナジーワールドワイドイーグルスグループ・デザインカンパニー共同」様からのもので、買っていただいたクッキーを北区の社会福祉協議会を通して、こども食堂に寄付される、とのことでした。

さあ、前代未聞の数に立ち向かう製菓部の所員の皆さん、大口の注文にやる気が高まり、職場に活気が出てきました。普段休みにしていた曜日にも通所するようになった所員、また遅刻が多かったのに今回の注文が入ってからは始業時間に仕事が始められるようになった所員もいました。注文をこなすために平日だけではなく、所員、職員の数名が休日に出勤して製造することもあり製菓部のチームワークがさらに強まったと思います。また、クッキーの袋詰め、ラベル張りなどは製菓部のメンバーだけではなく、他の部の所員、職員も総出で目標達成に向けて協力し、納品することができました。

今回の注文をみんなで協力してやりきることで、仕事の意味を再確認することが出来ました。収入を得るということだけではなく、目標が出来たことで日々の活動に張りが生まれ、やる気、充実感、仲間意識の深まりなど、様々な良い影響がありました。仕事を充実させることが、生活の質の向上に繋がることを感じさせられました。また大きかったのは、自分たちの作ったクッキーがこども食堂で配られるという、社会貢献に繋がるといったことです。工房時の所員、また職員にとっても大きな励みになりました。皆さん、本当にお疲れ様でした！そして「シナジーワールドワイドイーグルスグループ・デザインカンパニー共同」様、ありがとうございました。

(管理者 立野信行)



シナジーワールドワイドイーグルスグループ・デザインカンパニー共同様へ納品



北区社協へ寄付された工房時のクッキー



北区社協から「こども食堂」へ配られたクッキー

アクティビティセンターはばたけ 【生活介護事業】

はばたけには、大きな年間行事として、春のハイキング企画『野川ウォーク』、秋の地域交流行事『はばたけ秋まつり』、そして一泊旅行があります。しかし昨年度は軒並み中止となり、今年度も当初は難しい状況にありました。しかし、緊急事態宣言が明けて少し落ち着いたこともあり、少しでも楽しみを再開したいと、先日、秋の「野川ウォーク“ミニ”」を開催し、少人数&短時間に縮小してではありましたが、「秋を探しに」をテーマに出かけてきました。天気にも恵まれ、武蔵野公園や川沿いを歩きながら心地よい風を感じたりどんぐりを集めたり、それぞれ秋を見つけたようです。ゴールのくじら山では登頂&ウォーキング記念に職員手作りのスタンプを押して、久しぶりの行事を満喫しました。

11月にはもう一つの楽しみとして「はばたけ秋まつり」を行いました。内部向けとしたため地域の皆さんをお招きできませんでしたが、長い自粛期間のモヤモヤを吹き飛ばそうと利用者と職員の投票でテーマを決めるなど各グループで準備を重ねました。

当日は手作りの旗や壁面創作で、はばたけらしく飾りつけられた中、ダンスやポッチャの先生のリードで楽しく体を動かした他、中庭と室内を広く使った

「くつろぎコーナー(ウクレレ付き)」「アロマネイルコーナー」「お抹茶コーナー」「手作りボウリング」「ストラックアウト」「スタンプラリー」など盛りだくさんの一日となりました。

中でも、昼食の時間は利用者の皆さんの印象に残ったようです。いつもと違い単品メニューを食券で受け取るスタイルでランチプレート在完成させ、ベランダや中庭など好きな場所で食べるというものです。丁寧に作られたごはん「美味しい!」と目を輝かせていました。

暖かい日差しの中、手作りや工夫で行事を開催できたことが、利用者の皆さんや私達職員にとっても特別な時間となりました。この2年近く皆さんがずっと待っていた日でした。終わった瞬間に「どこに旅行に行こうか?」という利用者さんの声ですでにあがっています。



(管理者 柴田 信)



早く地域の方と一緒に楽しむ
秋まつりも復活したいです!



サポートネットあすは

《移動支援・同行援護・行動援護・居宅介護事業》

「サポートネットあすは」は障害者の方の支援を行うガイドヘルパーを派遣しています。

新型コロナウイルス感染拡大の影響で、利用者の皆様が外出しづらい状況が始まり、もうすぐ2年となりますね。この間、ワクチン接種も進んできて、久しぶりに外出のご依頼をくださる方々もいっしょに、うれしいかぎりです。

ガイドヘルパー養成研修は、定員を8名に限定して再開し、今年も6月の研修が終わりました。11月の研修も4名のご応募があり、12月初めに実習を終える予定です。ヘルパーの不足も常態化していますが、こうやって関心をもって応募してくださる方々がいることは私たちの希望であり、研修を終了した人たちが、ひとりでも事業所に登録して、現場で活躍していただけるように、この仕事の魅力を伝えていきたいと思っています。

また、このたび『サポートネットあすは』および『あすは kids』(放課後等デイサービス)は、12月より事業所を移転いたしました。元の事業所から徒歩5分ほどのところに新しい場所をお借りすることができ、二つの事業所ともにこれまで通り運営していきます。お近くにお立ち寄りの際は、ぜひ遊びにいらしてください。

「サポートネットあすは」は、利用者・ヘルパー・外出先で出会う人々・地域の方…と沢山の方が関わり成り立っている事業所です。これからも、それぞれの立場や思いを大切にしながら、地域に貢献できる事業所を目指していきたいと考えています。本年も、どうぞよろしくおねがいたします。
(管理者 柳井 美和子)



引っ越しました!

〒180-0011
武蔵野市八幡町 3-3-26
電話:0422-36-5151
FAX:0422-36-5161(移転前に同じ)



【お詫び】

過去号にて、法人へご寄付いただいた方のご報告が漏れておりました。大変申し訳ございませんでした。あらためましてご報告とお礼をさせていただきます。

★令和2年4月1日～令和3年3月31日【前号未報告】 法人・各事業所へご寄附

個人22名、法人・団体7社よりご寄附をいただきました。ありがとうございました。

おおぞら会後援会ニュース

新年のご挨拶

新年明けましておめでとうございます。後援会会員の皆様におかれましては、お健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

ようやく落ち着きを取り戻しつつありますが、コロナ禍の社会的影響はまだまだ続いております。感染対策を講じながら、今年も後援会活動にお力添えをいただきますようよろしくお願いいたします。

社会福祉法人おおぞら会後援会 会長 吉野 壽夫

★会費のご納入（敬称略）

個人132名、団体3社から、ご入会・ご更新の会費をご納入いただきました。ありがとうございました。

★後援会へご寄附（敬称略）

個人8名、団体2社から、後援会へのご寄附をいただきました。ありがとうございました。

★法人・各事業所へご寄附（敬称略）

個人18名、法人・団体4社より、ご寄附をいただきました。ありがとうございました。

（令和3年4月1日～11月20日集約分）皆様 ありがとうございました。



後援会へのご入会・ご更新をお願いいたします

年会費 1口 個人…2000円 団体…10000円

年会費は、お手数ですが直接お持ちいただくか、下記の口座にお振込みください。

※加入は任意です。年会費は法人運営を応援し、法人の活動を地域に広めるために大切にに使わせていただきます。

（はばただよりの発送に際し、振込用紙を同封させていただいております。入会・更新済みの場合も同封されておりますことをご了承ください）

information

支援スタッフ募集!

採用条件、労働条件等の詳細については、おおぞら会本部へ直接お問い合わせいただくか、またはハローワークの情報もしくは東京都福祉人材センターのホームページ「福祉のお仕事」www.fukushi-work.jp/、または「ジョブメドレー」で検索してご確認できます。

人と関わるのが好きな方
タフでガッツのある方
大歓迎です!



★日中お時間のある方★

- ・障害がある人たちの日中の作業活動(散策・創作・運動など)
- ・障害のある子どもたちの放課後の遊び支援
- ・送迎車の運転・添乗(短時間勤務)

★休日や夜間帯で効率よく時間を活用したい方★

- ・グループホームの宿直夜勤
- ・障害者のおでかけサポート(ガイドヘルパー)
- ・高齢者のデイサービスや泊り

…それぞれ活躍できる現場があります!

法人のこと、施設のこと…わからなくて迷っている方は、
まずは見学からどうぞ。

おおぞら会本部

0422-30-5571 (中野) まで

働き方いろいろ

正規職員・契約職員(常勤)
パート職員・アルバイト



社会福祉法人おおぞら会

・アクティビティセンターはばたけ(生活介護事業)	三鷹市野崎 3-17-9	tel 0422-32-3234
・工房時(就労移行事業・就労継続B型)	三鷹市野崎 2-6-41	tel 0422-30-5571
・野さきの家(小規模多機能型居宅介護事業)	三鷹市野崎 2-6-41	tel 0422-30-5575
・サポートネットあすは(移動支援[居宅介護]事業)	武蔵野市八幡町 3-3-26	tel 0422-36-5151
・あすは Kids(放課後等デイサービス)	武蔵野市八幡町 3-3-26	tel 0422-36-5151
・つなぐなかまの家・さくらハイツ・つむぎの家(共同生活援助)		tel 0422-26-1320

先日、友人と会った。年に数回旅行に行く中で、同じ都内に住みながらも“コロナが落ち着くまでは”と見計らっているうちに2年も経ってしまった。会わずとも近くに感じられるのが友というものでもあるが、とはいえ、やはり、会って話せるに越したことはない。積もる話や他愛ない話に花が咲き、時間を忘れるひととき。ランチとコーヒー2杯でこんなに満たされるなら安いものだ。

私が所属するグループホームでも、長い間余暇をセーブしてきた利用者の皆さんが、対策をしつつではあるが、少しずつお出かけの距離の長さや行く場所、楽しみ方をコロナ前に戻しつつあり、それとともに日々の張りや心の余裕が見られるようになっている。

今年もまだ付き合っていかなければならないこの日常。ささやかな幸せを感じられるくらい穏やかな波のまま、今年中には収束してくれることを願うのみだ。
(いりくらあきこ)

発行 障害者団体定期刊行物協会 〒157-0072 東京都世田谷区祖師谷 3-1-17-102 [頒価 50円]

企画・編集 社会福祉法人おおぞら会 編集責任者:入倉暁子